海洋会中国支部　第９回海事講演会の開催

ー「船長、子供達へ海と船を語る」及び「広島港無料クルージング招待」、「東京海洋大学の海事普及会による手旗信号およびロープワーク教室」の３点セットによる海事知識の普及活動についてー

中国支部長　石津則昭（東船大 N26）

はじめに

令和５年７月９日（日）に第９回海事講演会をボートパーク広島（広島市中区南吉島 1-1）で行いました。小学校４年から６年生を対象とする子供たちとその保護者向けの海事知識普及活動です。

第８回海事講演会は令和元年７月７日に行いましたので４年ぶりの開催です。

中国支部は高齢化により会員の絶対数が減少しています。また、以前から現役世代による海洋会活動への参加者が少ないため、長期的に支部の存続が危うい立場におかれています。そこで、海洋会の定款目的に沿った公益目的活動を実施することで支部の存続を図っています。

本イベントの協力団体

本イベントの主催は海洋会中国支部と一般社団法人日本船長協会です。共催として東京海洋大学海事普及会、後援として広島市教育委員会、協賛として常石造船（株）及び西川ゴム工業（株）です。

直接、小学校に働きかける必要から広島市教育委員会の後援許可を毎年頂いています。広島市教育委員会は本講演を社会科の模範講演として位置付けています。参加者には作文提出をお願いしています。

常石造船（株）の奥村幸生（東船大 N31）氏、及び西山周作（神船大 E24）氏の計らいで、今年から新たに協賛企業として常石造船（株）に加わって頂きました。

外部組織の協力なくして開催できません。関係諸団体に改めて感謝する次第です。

事前準備および子供たちへの参加者募集方法などについて

公益目的活動にふさわしい募集活動を行っています。大企業や労働組合等による組織動員がありません。一般公募型の海事知識の普及活動です。

次の通り事前準備を行いました。

1．４月 17 日（月）、広島市教育員会に後援申請を行いました。また、業者にチラシ 10,000 枚の作製を依頼しました。
2．４月 21 日（金）、広島市教育委員会による後援許可を得ました。
3．６月２日（金）、チラシが完成し、中国支部に届きました。
4．６月３日（土）、チラシの仕分け作業を中国支部で行いました。教育委員会から 10 枚単位で仕分けるように要請がありました。チラシ 10,000 枚を全量数え、36 校分相当額の合計 9,920 枚を仕分けました。11 時から始めて 14 時に終わりました。約３時間かかりました。佐藤幸三（神船大 N18）氏、大原康典（神船大 N24）氏、雨宮泰史（東船大 N47）氏、山木貴博（神船大 BK10）氏、及び石津の５人で行いました。
5．６月９日（金）　市役所本庁地下にある文書交換室内で各小学校の配布専用ボックスに投函しました。文書交換室に無断で業者が入ることはできません。教育委員会の指導教諭による立ち合いの元、大原康典（神船大 N24）、石津の２名で投函作業を行いました。また、市役所内にある記者クラブに行き、報道各社宛の各ボックスに投函しました。
6．６月 22 日（木）申し込み往復はがきが届き始めました。

第９回子供向け海事講演会（チラシ）

7．6月23日（金）申し込み往復はがきの数が参加募集枠の上限に達しました。往復はがきの受理を締め切りました。乗船名簿を作成しました。以後、不受理の返信ハガキを作成し、随時投函しました。
8．7月3日（月）進行要領、準備品リスト、配置表、乗船名簿の最終版を作成しました。
9．7月4日（火）損害保険を付保しました。

参加スタッフ

今回は、日本船長協会より長田泰英（東船大N38）氏、東京海洋大学海事普及会より河野伊久太氏、坂部時悠氏、大嶺考輝氏、藤井伶弥氏、奈村桜成氏、合計5人、海洋会本部より阿部玲子氏、中国支部より佐藤幸三（神船大N18）氏、大原康典（神船大N24）氏、雨宮泰史（東船大N47）氏、山木貴博（神船大BK10）、西山周作（神船大E24）氏、栗阪肇（神船大N42）氏、江種大宗（2018年東京海洋大学院卒）氏です。

大島商船に勤務されておられる千葉元（東船大N35）氏は山口県大島から参加される予定でした。しかし、前日からの大雨のためJRが運休となり欠席となりました。

前日の準備

前日7月8日（土）14時ボートパーク広島へ集合しました。会場設営を行いました。パソコン・プロジェクター動作確認、7種類の船種を説明するポスターの貼り付け作業。スタッフ含めて参加者全員の名札の作成、船主協会や船長協会から提供された教材等、内海パイロットから提供された文房具類、海洋会本部から提供された自動車船の紙模型、かるた、東京海洋大および各協賛企業や団体のパンフレット類、栄養剤、宿題の感想文用原稿用紙など、参加する生徒さんおよびその家族に対して、当日受付で配布できるように仕分けをしました。

ロープワーク作業ができるように、会場準備の確認、手旗信号を行う会場の確認、ライフジャケットの準備を行いました。

終了後、前夜祭として18時より広島市内にある「お好み村」で夕食を囲みました。

当日の流れ

海事講演会当日は9時45分、ボートパークへ集合し、前日の準備に参加できなかったメンバーを加えて当日の流れを確認しました。

10時から11時まで無料クルージングのコース確認を行い、学生たちに広島港を視察していただく予定でした。また、2隻のレンタルボートの操縦に慣れる目的でした。しかし、この日、広島地方は大雨警報が出ていました。朝から雨が降っていました。ボートパーク広島は太田川の河口付近にあり、川の水も薄茶色でところどころ流木が流れていました。事前クルーズおよび子供たちと保護者を乗せる無料クルージングを断念しました。

船長講演を13時から14時半まで、造船講演を14時半から15時、その後、ロープワーク体験と手旗信号体験を30分間、二チームに分けて行い、ロープワーク体験は教室内、手旗信号体験は管理棟内で行うことにしました。

あらかじめ参加する子供の名札（氏名・ボート名・AまたはBチーム名を明記）を前日に用意していたので、突然のキャンセルや参加者に現場対応しました。

参加者全員で“敬礼（ありがとうございました）”

参加予定者は子供22人と保護者17人、合計39名が参加予定でした。しかし、大雨警報のため、子供6人とその保護者5人の合計11人が欠席となりました。従って、参加者は子供16人とその保護者12名の合計28人となりました。

船長講演

12時50分から開演しました。支部長が挨拶し、資料の確認などを行いました。続いて長田泰英氏による船長講演（1時間30分）が始まりました。

船舶の全長について、広島市民球場の大きさ、ボートパーク広島から隣接する橋との距離、新幹線（16両編成）の長さと比較して話をされていました。また、家のイラストを配り、コンテナ船で運べるものをチェックする作業をさせていました。船の写真を見せて何を運んでいるか子供たちにクイズを出し、子供たちが飽きないように工夫されました。世界の航路、スエズ運河、パナマ運河を通過する様子、運河通行料のお話し、その他、船の仕事や船内生活の様子などを紹介されました。体験に基づく授業をされました。子供たちもノートにメモを取っていました。また、保護者も熱心に聴いておられました。

質問コーナーで、子供たちから船長の報酬の質問が出ました。海賊が出るかどうかの質問がありませんでした。珍しいと思いました。

あっという間の1時間半でした。

造船講演

午後2時30分から約30分間、常石造船の江種大宗氏が造船の話をされました。

江種氏は広島商船高等専門学校卒から同校の特例適用認定専攻科を卒業されています。その後、東京海洋大学の大学院に入学し2018年卒業され、常石造船に入職されました。勉強熱心で、現在、広島大学大学院の博士課程に在籍され、造船の研究をされています。中国支部の活動に参加されています。

造船業界一般についてと常石造船の紹介。船が作られるプロセスを説明し、その過程の中で自分が携わっている設計業務などスライドを用いて紹介されていました。進水式の動画を紹介して約30分間にわたって造船の話をされました。

造船の話は子供や保護者にとって、また、我々スタッフにとっても興味深いお話しとなりました。

長田船長講演

常石造船の江種氏

東京海洋大学の紹介

聞き入る参加者

手旗信号・ロープワーク教室

午後３時から東京海洋大学海事普及会の学生がスライドを使って、東京海洋大学の紹介と自分たちが何を学んでいるかを説明しました。

その後、名札に従ってＡチームとＢチームに分かれました。Ｂチームはロープワーク体験を30分間教室内で行いました。Ａチームは教室を出て、雨に濡れないように管理棟内で手旗信号体験を30分間行いました。30分経過後交替しました。Ｂチームが手旗信号を行うため教室に戻って来ました。Ａチームは手旗信号体験を行うため教室を出ました。

ロープワークは子供たちと保護者が一緒に参加します。我々、スタッフも一緒に指導します。学生は、エイト・ノット、リーフ・ノット、ボーライン・ノットの３通りの結び方を教えました。毎回、ロープワーク体験では子供たちは目を輝かせます。保護者も喜んで子供と一緒に参加します。

手旗信号教室では、学生が「皆さんの好きな野球チームはどこですか？」と問いかけると、「カープ」と答えます。そこで、手旗信号体験ではカープという文字を教えます。子供たちが親しみやすい文字です。また、学生が手旗の実践をやって何を表現したかを当てさせていました。

ロープワーク体験中

手旗信号体験中

エンディング

16時に教室に全員集合してもらい終わりのあいさつを行いました。内海水先区水先人会水先人　栗阪肇（神船大N42）さんが自己紹介を行い、大雨で参加できなかった大島商船高等専門学校千葉元（東船大N35）さんと大島商船高等専門学校パンフレットについて紹介されました。その後、参加者全員で記念撮影を行い、解散となりました。

制服姿の長田泰英氏と一等航海士の制服で参加して頂いた雨宮泰史氏が子供たちに帽子をかぶせるなど記念撮影に応じていました。帽子をかぶると子供たちは喜びます。子供たちにとって思い出の深いイベントになったものと確信しました。

会場を片付けた後、タクシーでJR広島駅構内に移動して食事兼反省会を行いました。

内海水先区水先人会
水先人　栗阪氏

おわりに

今回の海事講演会では、無料クルージングが中止となりました。3点セットから2点セットに変更しました。しかし、子供たちは飽きることなく船長や造船の話しに耳を傾けてくれたように思います。

大雨警報の中でもあるにもかかわらず、海事講演会に参加して頂いた子供たちと保護者、また、スタッフに感謝する次第です。

子供たちの感想文、スタッフの参加感想文等は次号に掲載する予定です。